

No.2565

琵琶湖疎水

日時： 6月18日(日) 曇り

参加： 右田(L)、曾和、佐々木(記) 3名

JR 大津から南禅寺まで、疎水沿いに名所を訪ねながら6時間かけて歩いてきました。滋賀県側は山気分、京都側は観光気分で楽しみました。

大津を(9:40)スタート、まずは町中を三井寺方面へ。京阪の路面電車が懐かしい。琵琶湖疎水の起点(10:05)、意外と水量と流れの早い石作りの起点である。三井の晩鐘で知られる三井寺の正面門を観光し疎水に戻ると、間もなく疎水第一トンネルとなる。今日一の逢坂山を超えていく小関越えルート、この山の下を疎水がトンネル内を流れて行く。防空壕のような第一堅坑が、トンネル中間点の真上ある(11:00)。トンネル工事の出入り口との事で、何とも大変な工事であったであろう事が、想像される。一服し、ハイキング道を「わらび」を摘みながら、ゆっくりと京都側へと下る。途中のコンビニで飲み物を仕入れ、昼食はキラキラとした疎水の流れを楽しみながら、香倉院横のベンチでゆっくり楽しむ(11:40~12:20)。ジョギング道にもなっている気持ちの良い道を歩くと、左手下に山科の街並みが見える。さらに疎水道を歩き、風致地区(永興寺)で、ホット一息(13:10)。第2、第3のトンネルとなるところで、いったん左手の住宅地側へと下り、車道沿いの道を歩く。山道と違って、やはり下からの照り返しが暑い。途中、車石のオブジェを見て進むと、蹴上の浄水場が見えてくる。この当たりから、観光客が増えてくる。ねじりまんぼうのトンネルを潜り、南禅寺へ。大門を抜け、緑の美しい境内を抜けると、水路がレンガ作りの橋梁上を走る、南禅寺・水路閣である。綺麗な橋梁の前で、多くの観光客と共に写真に収まる。

今日は疎水を船で下りところは見られ無かったが、空船をトロッコか電車で運び上げる線路(インクライン)を見て、本日のゴールとなる。ここから、京阪三条へと京都市内を歩いて、無事解散。右田リーダー、ありがとうございました。楽しい山行でした。

